

## 繰り返す感染

子どもは何度も熱を出したり、咳・鼻水が止まらないことも少なくありません。下記の症状に当てはまらないか一度チェックしてみてください。

### 原発性免疫不全を疑わせる 10 の兆候

- ・乳児で、呼吸器・消化器感染症を繰り返す。また、体重増加不良や発育不良がみられる
- ・1年に2回以上肺炎にかかる
- ・気管支拡張症を発症する
- ・2回以上、髄膜炎や骨髄炎、蜂窩織炎（ほうかしきえん：皮膚の感染症の一種で皮膚の層構造の深いところから皮下脂肪にかけて細菌が感染した状態）敗血症、皮下腫瘍、臓器内腫瘍などの深部感染症にかかる
- ・抗菌薬を服薬しても2か月以上感染症が治癒しない
- ・重症副鼻腔炎を繰り返す
- ・1年に4回以上、中耳炎にかかる
- ・1歳以降に持続性の鷲口瘡（がこうそう：カビが原因で口腔粘膜に白苔が付着した状態）や皮膚真菌症、重度、広範ないぼがみられる
- ・BCGによる重症副反応で骨髄炎などに罹患、単純ヘルペスウイルスによる脳炎や髄膜炎菌による髄膜炎に罹患したことがある。また、EBウイルスによる重症血球貪食症候群に罹患したことがある
- ・家族に乳幼児期に感染症で死亡するなど、原発性免疫不全症（PID）を疑う家族歴がある

### 上記に当てはまってしまったら

慌てずかかりつけから当院に紹介状を書いてもらいましょう。当院でスクリーニングの血液検査を行い、必要に応じて兵庫県立こども病院や神戸大学医学部附属病院に連絡いたします。実際上記に当てはまっても免疫不全症でないことも多くあります。